

TEC 屋根裏・部屋 ソーラー換気扇 工事 / 取扱い / 仕様 説明書 型式 A-16053

機器を据付ける前に必ずこの工事説明書をお読みの上、正しく据付けてください。

要注意事項

※ここに示した事項は、いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

作業を誤った場合に設置工事業者、設置後の不備によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が考えられる場合を示しています。

注意

作業を誤った場合に設置工事業者、設置後の不備によって、使用者が傷害を負う可能性が考えられる場合及び、物的傷害の発生が考えられる場合を示しています。

警告

●機器を安全にご使用いただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください

●取付け工事は建築基準に従って行ってください。

●取付け工事は必ず専門業者が行ってください。お客様自身が取付けしないで下さい。

●床下換気扇以外の用途に使用しないで下さい。

●取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。落下によりケガをする恐れがあります。

●高所での作業は必要に応じてヘルメットを着用してください。また、雨天での作業は危険ですので避けてください。

●高所での作業の際は下に人がいないことを確認してください。物を落とすとケガをする恐れがあります。

注意

●床下専用の為、床下以外には設置しないで下さい。

●作業の際には、手袋等を着用しケガをしないよう十分に注意して下さい。

●太陽電池コネクタは最後に接続してください。コネクタを接続すると換気扇がすぐに回り始める事があり、ケガをするおそれがあります。

●運転中は危険です。換気扇に指や物を入れて下さい。ケガ・故障の原因になります。

取付け台数の選定

- 床面積33㎡（10坪）につき床下換気扇1台が目安設置台数になります。床下に多く湿気がたまりやすい場合には、約7坪に対し1台設置して下さい。

ソーラーパネル取付位置

- ソーラーパネルを設置するにあたり、太陽光の日照が多く当る方位。南方位に設置してください。又、仰角角度を適切な角度にすることで非常に効率よく発電する事が出来ます。推奨角度【南方位/30°】
- 架台設置には強度の十分にある軒下駄や母屋などに確りと取り付けてください。強度不足の場合には、補強工事を行ってください。

屋根裏・部屋 ソーラー換気扇の取付

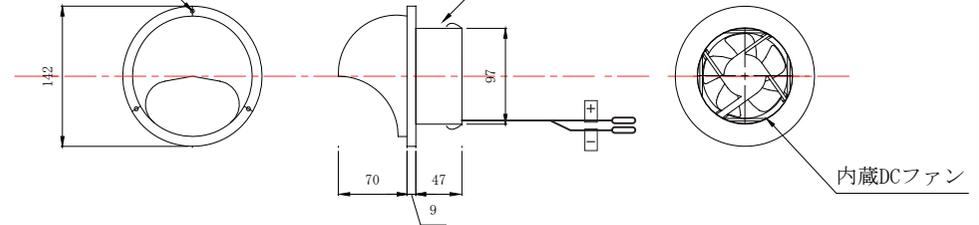
- 16㎡（5坪）につき、1台が目安台数になります。湿気が多くたまりやすい場合には約3坪に対し1台設置して下さい。又、必要に応じて吸気扇を設けてください。

外形寸法図

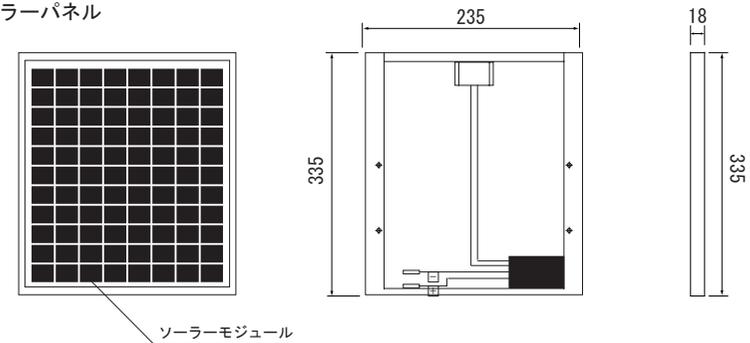
屋根裏・部屋 ソーラー換気扇

φ4.5半抜き穴×3

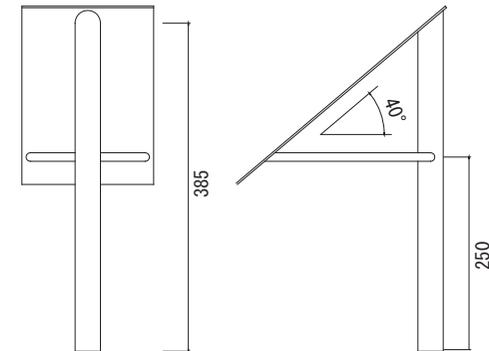
抜け止め金具×3



ソーラーパネル



取付け架台

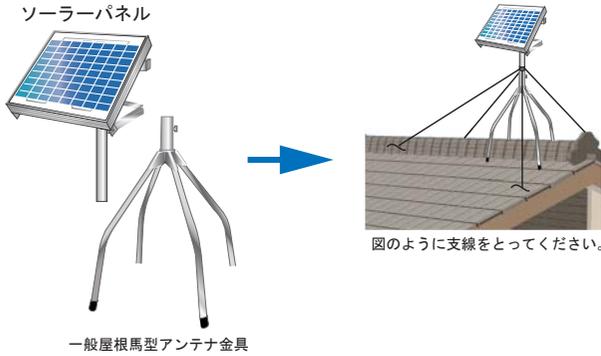


取付け方法

●屋根・屋上設置の場合

アンテナ屋根馬金具 32φ適合品をご使用して頂ければポール設置が可能です。

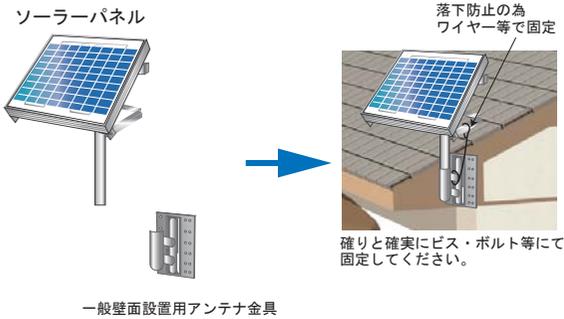
- ①市販の32φ適合アンテナ屋根馬金具をパネルに確実に取り付けます。
- ②ソーラーパネルが南向きになる様に確実に取り付けます。
- ③落下防止の為、ステンレス線等にて支線を4方に張って下さい。



●壁面設置の場合

アンテナ金具 壁面用 32φ適合品をご使用して頂ければポール設置が可能です。

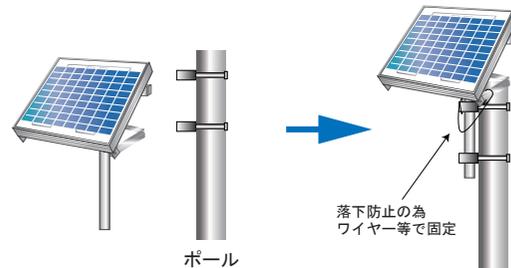
- ①市販の32φ適合アンテナ金具を壁面に確実に取り付けます。この時の下地は強固なものではないとなりません
- ②ソーラーパネルが南向きになる様に確実に取り付けます。
- ③落下防止の為、ステンレス線等にてパネルと支持金具とをつないで下さい。



●ポール設置の場合

アンテナ金具 32φ適合品をご使用して頂ければポール設置が可能です。

- ①市販の32φ適合アンテナ金具をポールに確実に取り付けます。
- ②ソーラーパネルが南向きになる様に確実に取り付けます。
- ③落下防止の為、ステンレス線等にてパネルと支持金具とをつないで下さい。

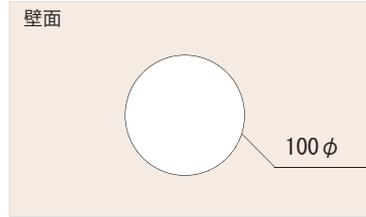


●換気扇取付け方法

ソーラーパネル側のコネクタは最後に接続してください。接続するとすぐに換気扇が回り始め、ケガをする恐れがあります。

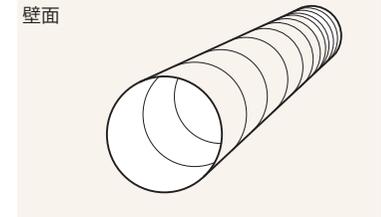
1. 壁面等を開口して下さい。

屋根裏・部屋 ソーラー換気扇開口許容穴寸法



(屋根裏換気の場合)

効率よく換気を行いたい場合には、アルミダクト等にて、屋根中心部までダクトを伸ばしてください。



- まず屋内配線にて、ソーラーパネルから電線を換気扇取付開口場所に配線を行います。

セットしたアルミダクトにドライバー等で穴を開けます。

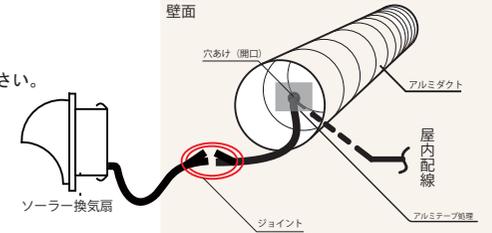
その穴より電線を出しソーラー換気扇と結線します。

結線時(+)と(-)を間違わないようにして下さい。

(+)は(+)どおし(-)は(-)どおし、結線を行ってください。

- 結線後は、絶縁処理(テープ等)を行いアルミダクトの穴に入れもどし、換気扇ファンの羽に電線が当たらないようにして換気扇を収めます。

- 換気扇は、確実に壁面にビスにて取付けてください。取付後は、コーキング処理を施してください。

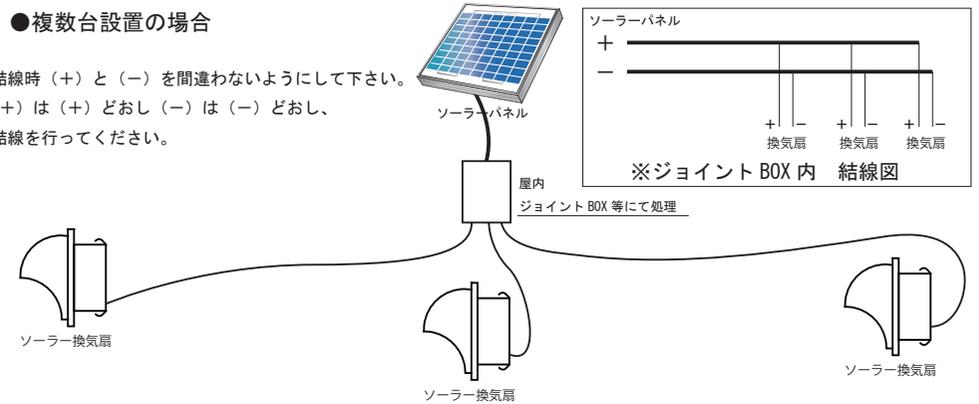


●複数台設置の場合

結線時(+)と(-)を間違わないようにして下さい。

(+)は(+)どおし(-)は(-)どおし、

結線を行ってください。



配線工事

- ソーラーパネルに接続する時の注意事項
必ず(+)(-)を確かめてください。コネクタ接続後は、コネクタごと絶縁テープやNテープを使用し、防水処理を行ってください。
- ソーラーパネルから、軒下や、屋内を通りソーラー換気扇取付位置まで配線を行います。ケーブルが短い場合には、0.75スクエア以上の電線(2芯)にて延長し、配線を行ってください。屋根裏・部屋ソーラー換気扇の場合は、屋内配線を推奨いたします。
- 複数台設置の場合
屋根裏・部屋ソーラー換気扇を複数台設置するときには、ソーラーパネルからの(+)(-)に換気扇からの(+)(-)を並列に電線をつなぎ、ジョイントBOX等にて処理を行ってください。
- 試運転
運転動作確認は、ソーラーに太陽光が照射致しますと運転を開始いたします。床下換気扇の排気方向(正転)を確かめてください。回転方向が違い、吸気している場合には、電線の(+)(-)を入れ替えてください

セット内容

●開こん前の注意事項

機器がご使用目的と適合しているか御確認下さい

ソーラーパネル 10W × 1枚	取扱い説明書・工事説明書・仕様書 標準セット内には下記3種の中よりアンテナベースをお選びいただけます。下記内に使用場所に適合すれば下記より1台お選び下さい。 アンテナベース サイドマウント型 ×1台 アンテナベース 屋根馬型 ×1台 アンテナベース ポール取付け型 ×1台
取付け架台 (SUS) 1台	
屋根裏・部屋ソーラー換気扇 1台	
電線 1.25×2c×20m 1巻	
取付けビス 65mm 木ビス 10本	
換気用 取付けビス 35mm 4本	

TEC ソーラー換気扇システムは、様々な取付け方法が可能です。(ソーラーパネル取付け方法) ご希望に合った換気扇金具をお客様で、ご用意していただくことで取付け応用範囲は広がります。
御参考適合表

サイドベース型		屋根馬型		ポール取付型	
メーカー	形式	メーカー	形式	メーカー	形式
マスプロ電工	SB13S	マスプロ電工	SB39S	マスプロ電工	BMK32A-P
	SB30S		SB35S		
			SB45ES		
八木アンテナ	ML-G2-B	八木アンテナ	RS-EG-B		
			RS-EN-B		
			RS-GN		
			RS-11N		

注意：取付不備により起きた事故等には、当社は一切の責任を負いません

フェンス取付型			
ご注意：フェンス固定金具を使用するには CM45 (マスプロ電工) が必ず必要です CM45+下記よりお選びください。			
メーカー	形式		
マスプロ電工	FBM45	HBM45	八木アンテナ
	SBM45E	SBM45	BS-BK6
	SBM45OK	SBM45K	BS-KK1
	BM45	M160Z	
	BMK32A-P	KBM45	
	KBM60	KBM60-30	

注意：取付不備により起きた事故等には、当社は一切の責任を負いません

TEC 屋根裏 / 部屋ソーラー換気扇 仕様書

形 式		B16053
ソーラーパネル	公称最大出力	10W
	公称最大出力動作電流	0.57A
	公称最大出力動作電圧	17.5V
	公称短絡電流	0.65A
	公称開放電圧	21.6V
	外形寸法	235mm×335mm×18mm
	重量	0.9kg
屋根裏・部屋換気扇	型 名	屋根裏・部屋 換気扇
	定格電圧	DC12V
	定格電流 (FAN 1台あたり)	0.25A
	風量 (FAN 1台あたり)	1.30 m ³ /min
	騒音 (FAN 1台あたり)	36dB
	外形寸法	142φ
	開口寸法	100φ
付属部品	ソーラーパネル取付架台	
	配線ケーブル 20m	
	取付ビス 一式	